

# 地域とともにある学校づくりをめざして

【周防大島町 東和中学校区】

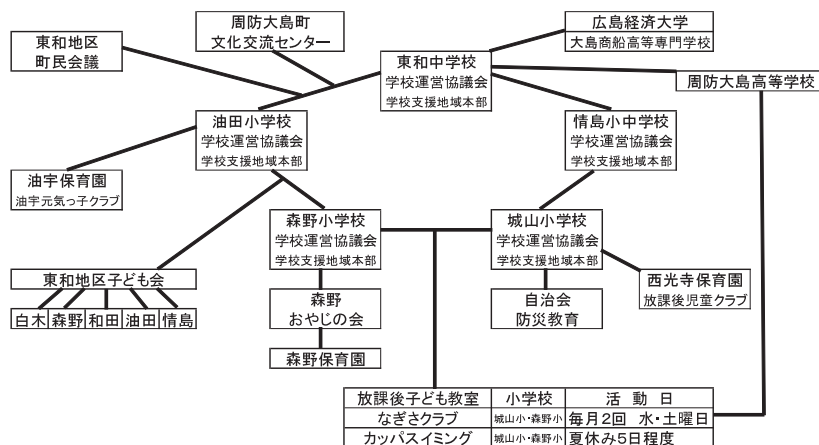
## 地域の概要

東和中学校区は、周防大島町の東南部に位置し、自然環境に恵まれた地域です。旧東和町時代から、役場などの主要な施設が集まっており、現在も町教委や図書館等があることから、教育活動に対して大変協力的な風土があります。

人口	2,380人	
世帯数	338世帯	
対象校 及び 児童 生徒数	東和中学校	78人
	情島小・中学校	21人
	城山小学校	49人
	森野小学校	26人
	油田小学校	13人

## 組織の内容

本中学校区では、学校・家庭・地域の連携を一層強化し、三者の教育力を高めることをめざしています。そこで、一昨年度から「東和地区地域協育ネット」という右図の組織を立ち上げました。3年目となった今年度は、学校間連携、地域間連携の縦横のネットワークが更に広がりました。



「東和地区地域協育ネット協議会」は、5校の校長、小中連携担当教員、教育活動推進員、会議の運営をサポートする社会教育主事の16名で構成しています。協議会は、年2回開催し、各校の情報交換等を行いました。また、来年度の「世界スカウトジャンボリー」における「地域プログラム」の活動内容を話し合いました。その結果、東和地区の小学校では、4校の児童が一堂に会し、竹とんぼを製作し、飛ばすことを通してスカウトと交流することが決まりました。中学校区の各小学校の支援者が協働して子どもたちの活動を支援する具体的な動きが始まり、「世界スカウトジャンボリー」を地域ぐるみで盛り上げていこうとする気運が高まりました。

## 特色・重点的な取組

### ○ふるさとのよさを実感する郷土料理作り

小・中学生と地域の方が、郷土料理の茶粥作りを通して交流しました。参加した児童生徒は、郷土の味やふるさとのぬくもりを肌で感じることができました。

### ○小・中学生による地域貢献

戦争によって中断されていた情島の伝統行事「ひごもり」が、地域の自治会、老人会、小・中学校の連携により2年前に復活しました。復活して3年目を迎えた今年は、中学校生徒会が企画段階から参画する等、地域の伝統行事の継承に積極的にかかわることで、地域の活性化に貢献しました。

### ○学校施設の活用による地域の方との交流

「学校に多くの地域の方に来ていただいて、心のお土産をもって帰っていただく」という趣旨で始まった東和中学校の「土曜塾」は、2年目を迎えました。定期的に学校施設を地域に開放することにより、子どもたちと地域の方との交流が深まりました。

## 主な活動の紹介

### ○ふるさとのよさを実感する郷土料理作り

小・中学生と地域の方が一体となって、さつまいも入りの茶粥<sup>がゆ</sup>作りに取り組みました。森野小児童が田植えや稲刈りをした地元のお米、学校の畑で栽培したさつまいもの「東和金時」を用いました。茶葉は、地域の方が日頃使っているものを持参し、保護者と一緒に調理しました。

最後に、調理してくださった地域の方に、中学生が手作りカードをプレゼントしました。香ばしいお茶の香りとともに、心も体も温まる和気あいあいとした「茶粥<sup>がゆ</sup>の会」となりました。



茶粥<sup>がゆ</sup>を作る様子

### ○小・中学生による地域貢献

「ひごもり」は、春の到来や秋の収穫期にごちそうを持ち寄り、その喜びを一緒に味わう伝統行事です。戦争により中断した「ひごもり」は、戦後も長年途絶えていました。しかし、2年前に、情島自治会、情島老人会、情島小・中学校の連携により復活させることができました。学校給食の試食会をごちそう代わりにして、地域の兄妹歌手の演奏会、小学生の合唱、中学校生徒会の企画によるレクリエーション等を実施しました。小グループに分かれての絵本の読み聞かせは、地域の方と小・中学生の会話が弾むきっかけとなりました。地域の方は、「ひごもり」の復活を喜ばれ、この日を心待ちにされていました。



「ひごもり」の様子

### ○学校施設の活用による地域の方との交流

東和中学校における、学校施設を地域に開放した学びの場「土曜塾」は今年で2年目を迎えました。11月のグラウンドゴルフでは、中学生やグラウンドゴルフ東和支部の会員等、地域の方が参加しました。表彰式終了後には、コミュニティ・スクール企画推進部が用意したぜんざいを参加者で食べ、心も体も温まる楽しいひとときを過ごしました。



地域の方との交流



グラウンドゴルフの様子

## 成果と課題

成果としては、学校・家庭・地域が一体となった活動を通して、ネットワークを強めることができ、子どもたちの「生きる力」の向上や、地域の活性化にも貢献できたことが挙げられます。もともと地域と一体となった活動が盛んでしたが、地域と中学校とのつながりが深まり、中学校区全体で子どもを育てるという連帯感が更に高まりました。

課題としては、協議会や小・中合同の研修会等において、教職員、保護者、地域の方のつながりを更に深めるための「熟議」や情報交換の実施、連携するよさを積極的に情報発信することです。

## 今後の取組

今後も、学校を核とした、人づくり・地域づくりを進めるために、郷土理解を深め、ふるさとのよさや地域の方の温かさを感じられる取組を行います。また、地域貢献に対する子どもたちの意欲を高めるとともに、地域の方の熱い思いや支援に対し、感謝の気持ちをもつ子どもを育てます。

本中学校区は、離島の学校を含むことでかなり広範囲になるため、統括コーディネーターの配置が難しく、行政の支援が必要です。町のコミュニティ・スクール・スーパーバイザー等の助言をいただきながら、「地域協育ネット」の取組を充実していきたいと考えています。